

臨床工学技士による臨床現場の「困りごと」から製品開発・研究業績へ

第1回 臨学産クラスター研究会 臨床ニーズ募集

【本会の目的】

一般社団法人東京都臨床工学技士会と東京都医工連携HUB機構の合同で、臨床工学技士と製販企業・ものづくり企業での医工連携体制を確立し、臨床工学技士がもつ臨床現場の「困りごと」に基づく製品開発・研究業績の推進を図ることで、医療機器産業界の発展に寄与することを目的とする。

医工連携の活性化のためには、臨床現場からのニーズ提供が持続・拡大していくことが望まれる。そのためには、臨床ニーズがもつ知的財産的価値の考え方やその取り扱いが重要な課題となる。臨床ニーズ発表・マッチングの開催にあたっては、臨床ニーズの知的財産的価値に配慮して企画実施することを目指す。

【開催概要】

(受付開始17:30)

日時 2019年12月23日(月)18:00～20:00

会場 **東京女子医科大学病院** **参加費 無料**

外来センター大会議室 (東京都新宿区河田町8-1)

第1部 臨床ニーズマッチング

18:00～19:20 開会挨拶 (東京都臨床工学技士会、東京都)
臨床ニーズ発表 (8テーマ程度の発表予定)

*ご参加者の皆様には、「秘密保持に関する申し合わせ」にご署名いただきます。

第2部 製販企業・ものづくり企業と交流会

19:20～20:00 臨床工学技士、製販・ものづくり企業による情報交換
 (参加企業から自社紹介・製品ショートプレゼン
 名刺交換・情報交換)

【後援】 申請予定

経済産業省 関東経済産業局 日本臨床工学技士会

ニーズ募集要項

募集期間：2019年9月12日（木）～2019年11月9日（金）まで

応募資格：日本臨床工学技士会 会員 発表形式：口演のみとなります。

応募先：icou.tokyoce@gmail.com までメールで氏名、所属先、会員番号
ニーズ要約（下記の①～③）をお送り下さい。

採否通知：11月下旬を目途にご連絡予定です。

【ニーズ要約】

① 開発するデバイスの種類（20文字以内）

例）鉗子、超音波診断装置、処置用台など

② デバイス開発の背景（臨床現場の現状と問題点を200文字以内）

※ 知財保護等のため「公開可能な情報」に限定ください。開発アイデア（解決策）そのものなど知財に関わる情報、秘密の情報は記載できません。

良い例）問題点までの情報を提供

→〇〇が難しい、□□が時間がかかる、××ができない

悪い例）解決策の情報は提供しない

→〇〇ができるようにしたい、□□な構造の××を開発したい

③ 具体的なデバイス開発のアイデアの有無

有りの場合は、弁理士事務所との連携体制で出願の可能性を検討します。

ニーズ発表方法

発表時間3～5分、スライドは1枚 + α で背景と問題点のみ発表し、課題や解決策など知財的価値のある情報は発表しない。

スライド発表例

<small>2019年〇月〇日 第1回 臨工学連携クラスター研究会 提案者：〇〇〇 〇〇病院 臨床工学科 ■■■ ■■■</small>		デバイス開発で解決したい問題点 この問題を解決したい
〇〇できない/〇〇になってしまう(問題点)		
ここに、 「臨床現場の問題点 が伝わる写真」 を掲載する	「問題点に関連する 現行のデバイスの写真」	
現場の臨場感・重要性・緊急性・迫力 が伝わる写真を掲載する		
出典：〇〇〇〇	出典：〇〇〇〇	
〇〇〇(写真の説明)	〇〇〇(写真の説明)	
年間患者数〇〇人、年間実施件数〇〇件、予想単価〇〇円 ...		

製品化までの流れ

臨学産クラスター研究会

臨床工学技士から臨床ニーズを発表

マッチング※1

臨床工学技士 × 製販企業 × ものづくり企業

※1 秘密保持契約(NDA)締結後、ニーズの課題や解決策など知的財産的価値の情報を交換する。ニーズから製品化につながる確率を高めるため製販企業・ものづくり企業と開発テーマを作る。

公的資金申請・獲得※2

申請者＝ものづくり企業

※2 東京都中小企業振興公社
医療機器産業参入促進助成事業
(事業化助成金または開発着手助成金)

共同研究開発・製品化

ニーズ募集要項やその他、メールでのお問合せ先 a.daiki0212@gmail.com

東京都臨床工学技士会 理事 医工連携WG 担当責任者 朝日大樹